



令和8年度F-REI関連の主な県事業について

福島県企画調整部
福島イノベーション・コースト構想推進課





R8年度 F-REI地域連携加速化事業

福島県 福島イノベーション・コースト構想推進課

1 事業の概要

F-REIの地域内での多様な主体との共創関係の構築と、F-REIの設置効果の広域的な波及のため、F-REIと地域との様々な形での連携促進に取り組む。

2 事業の内容

(1) F-REIの地域連携の加速化【補助事業】

地域の企業・団体等がF-REIと連携する取組に対して補助し、F-REIの活動に地域が参画した様々な連携を創出

- 補助対象者 F-REIと連携した取組を実施する企業・団体・大学
※県内市町村とも連携する取組が対象
- 対象事業 F-REIの研究成果の産業化、人材育成、認知度向上につながる取組、F-REI周辺の生活環境を充実させる取組
- 補助限度額 200万円/件
- 補助率 定額

(2) F-REIの地域連携の推進【委託事業】

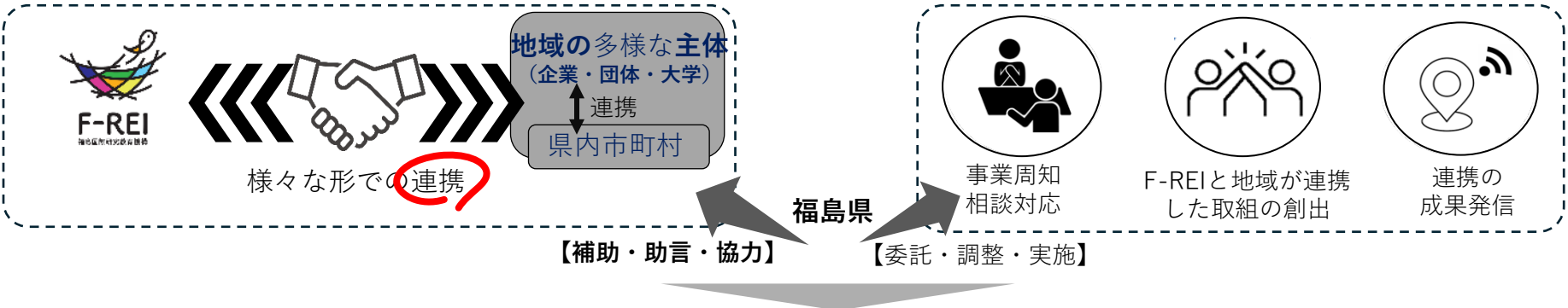
事業周知、F-REIとの連携に関する相談対応、連携の成果の発信等

(連携の一例)



(※「市町村との連携」について)

- ・活動や実証の場の提供
- ・市町村所有の施設の活用
- ・市町村所管の産業団体、教育団体等のネットワークの活用
- ・周知広報での協力
- ・市町村の施策との連動
- ・市町村との連携協定等に基づく取組としての連携 等



F-REIの地域内での研究開発活動等の促進、地域によるF-REIとの連携機運の醸成を図る

前身事業「おらがF-REI連携推進事業」の事業成果（R7年度）

F-REIの研究開発の理解促進の取組

学校法人佐野学園（神田外語グループ）

【取組概要】神田外語大生が浜通りの震災復興学習（フィールドワーク）を経て、日英版の震災復興新聞を制作し、世界へ発信する

【連携内容】F-REIを訪問し、広報チームと意見交換

【実績等】

- ・復興大臣、福島県知事への贈呈
 - ・3.11追悼祈念式、城南信用金庫報道写真パネル展での展示、配布
 - ・国内外の連携先学校での活動発表・配布
- ※メディア露出実績：延べ72件（TV、新聞、Web、YouTube）



全文はこちらから



株式会社東邦銀行

【取組概要】「とうほう次世代経営者倶楽部」会員を対象に、2日間の浜通り等視察ツアーを開催する

【連携内容】F-REI本部や環境創造センターF-REI研究棟を訪問し、研究者や職員と意見交換

【実績等】

- ・参加者 10名（農業、医療・電子機器、鉄鋼、水産加工、観光業等）
- ・参加者の声「県内各地で F-REI やイノベ構想のセミナー等が開催されているが、現地で直接見て、聞いて、交流することでより高い解像度で理解することができた。」



F-REI施設予定地



ロボット分野の研究説明



放射性物質の環境動態研究の説明



夕食懇親会

前身事業「おらがF-REI連携推進事業」の事業成果（R7年度）

株式会社ウインウィン①

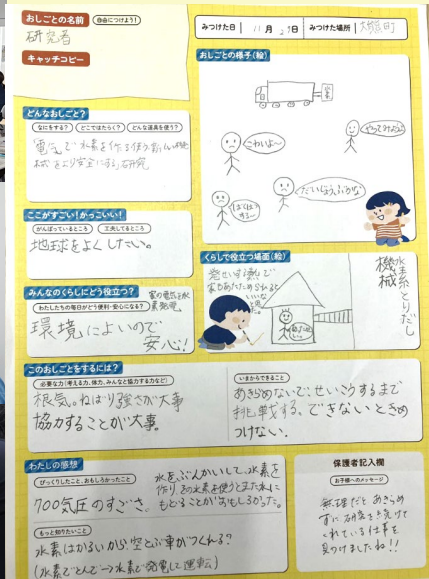
【取組概要】浜通り地域の小学生親子を対象に、水素タウンに向けた取組を学習の上、「おしごと図鑑」を作成し発表する

【連携内容】研究者や職員を講師に迎え、実験や交流を実施

【実績等】

- ・講師（第1回）F-REI総務部長及び浪江町市街地整備課長補佐
（第2回）F-REIエネルギー分野ユニットリーダー
- ・参加者（第1回）親子10組（第2回）親子12組
- ・参加者の声「水素の使い方が色々あってしょう来ばくも水素の研究を見つけたいと思った」「福島に国内外の叡智が集まり、明るくい未来が待っていると思うと、とても嬉しくなりました」

※アンケートでは各回とも児童・保護者ともに満足度100%を達成。



有限会社ABCいわき

【取組概要】F-REIを紹介する30秒動画コンテンツを制作し、いわき駅前の大型ビジョンで放映

【連携内容】動画制作に当たっての監修及び素材提供

【実績等】

- ・放映期間 12/31~3/24
- ・放映回数 計2,520回
- ・広報効果 (動画を認識した人数) 約2,000~4,000名/日

(※)

(※)いわき駅前通行量や、いわき駅前地区の人口を基に試算



前身事業「おらがF-REI連携推進事業」の事業成果（R7年度）

産業人材育成の取組

株式会社ゆめサポート南相馬

【取組概要】ロボット産業に従事する若手技術者を主な対象に、計12回の講座を開講

【連携内容】カリキュラム構築会議を定期開催、研究開発推進課長を講師に迎えたF-REI特別講義を実施

【実績等】

- ・F-REI特別講義
テーマ（第1回）過酷環境に向けた航空ロボット（ドローン）技術
テーマ（第2回）過酷環境に向けた地上ロボット技術と災害対応
受講者（第1回）65名
（第2回）60名
- ・制御系・メカニクス系講義受講者 10回で延べ56名
- ・実施所感「F-REI特別講義において、受講者がF-REIの研究領域に触れることで、将来の共同研究・産学官連携の理解者・支援者としての人材基盤を拡げることができた。」



F-REI特別講義



制御系・メカ系講義

公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会

【取組概要】地域の企業人材、起業志望者、学生等を対象に、事業構想力育成プログラム「いわきものづくり塾® ~F-REI連携・共創コース~」を開講

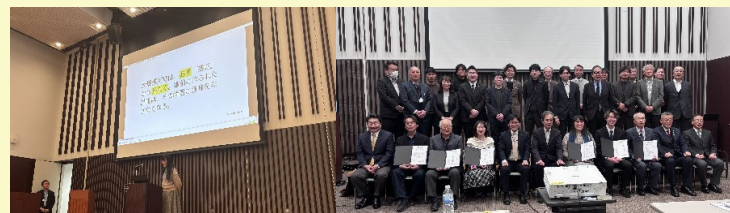
【連携内容】3分野（ロボ、エネ、原子力災害知見）の研究者による講義及び事業構想成果発表への講評

【実績等】

- ・講師（第1回）エネルギー分野長
（第2回）ロボット分野ユニットリーダー・サブリーダー
（第3回）原子力災害知見分野ユニットリーダー
- ・受講登録者 24名（うち修了者7名）
- ・成果発表・交流会 参加者50名（5名が登壇し事業構想を発表）
- ・実施所感「F-REIの先端技術をいわき地域の具体的課題や自身の事業・研究内容と結びつけ、独自の事業構想を策定した。講義で得た知見をワークショップで具体化するプロセスを通じて、各自の強みや研究内容からの展望を反映した、将来発展性のある事業構想の構築につながった。」



講義（エネルギー分野）



成果発表会・交流会

前身事業「おらがF-REI連携推進事業」の事業成果（R7年度）

F-REIの立地を踏まえた地域振興の取組

株式会社ウインウイン②

【取組概要】浜通り等の中学生を対象に、F-REIの研究開発テーマをヒントにした地域課題解決アイデアコンテストを実施

【連携内容】アイデアコンテスト全体の監修、参加対象校への研究開発内容等の情報提供、審査・表彰

【実績等】

- ・浜通り等15市町村の66校、約7,000名の中学1、2年生に対し、募集チラシを配付（F-REIアニメーション動画等を掲載）
- ・募集期間 12/17～2/16
- ・応募総数 37作品 → グランプリ、準グランプリ、特別賞5作品を選定



グランプリ受賞作品概要

1. 作品名	安心が見える村づくり
2. 提案者	川内村立川内小中学園 安藤力也さん
3. F-REIの研究分野 × 地域の課題	放射線科学 × 創薬医療、放射線の産業利用 × 笑顔が少なく、元気がない
4. アイデア ・描く未来	「放射線科学」を活用することで、地域住民が安心して暮らせる村にする。 例えば、 ①健康や環境の状態を正しく知る「健康チェックイベント」 ②農業×放射線の研究や土壌・水の安全チェックなどによる、「おいしく、強い作物づくり」 ③子どもたちが科学に興味を持つようになる「ワクワクする放射線サイエンス教室」 その結果、村の人同士の会話や笑顔が増え、安心と前向きな気持ちにあふれた元気な村に変わる。 ※アイデアづくりの過程で生成AIを活用



グランプリ受賞の安藤さん（写真左）、特別賞の遠藤さん（写真右）



R8年度 福島国際研究教育機構連携推進事業

福島県 福島イノベーション・コースト構想推進課

1 事業の概要

- 令和5年4月、世界に冠たる創造的復興の中核拠点として、福島国際研究教育機構（F-REI）が設立され、令和6年6月には、県とF-REI、福島イノベ推進機構の間で研究開発・イノベ構想の推進等に関する連携協定が締結された
- 福島イノベ構想を更に発展させるためには、構想を担う主体を地域に多く呼び込むとともに、地域の主体とF-REIの連携を促進し、新産業を生み出すF-REIの研究開発等の取組を支援することが必要。
- 県は、F-REIと地域との様々な形での連携を促進するため、福島イノベ推進機構と連携したコーディネート活動や、県外企業のイノベ構想への参画を推進に向け、F-REIの認知度向上のための、関連情報の発信を行う。

2 期待される効果

F-REIの県内での研究開発等の活動の充実、F-REIの認知度向上によるイノベ構想の発展



F-REIの研究開発等の充実

福島イノベ構想の発展

3 事業の内容

(1) F-REIと地域とのコーディネート活動

F-REIと地域との様々な形での連携を促進するため、引き続き、福島イノベ機構と協力し、F-REI・地域双方の情報収集、仲介・相談等の活動を行うとともに、F-REIの研究者と企業等との交流会等の交流機会の提供など、コーディネート活動を継続する

(2) F-REI・福島イノベ構想の県外への情報発信

F-REI・福島イノベ構想の認知度向上を図り、構想への参画を促すため、動画等のコンテンツや産業展示会への出展など、主に県外の企業をターゲットとした情報発信を実施する。



F-REI・イノベ構想の取組への参画意欲を高めるための動画コンテンツの作成



産業展示会への出展によるF-REI・イノベ構想の取組内容の発信



業界系WebメディアにおけるF-REIの研究内容等の発信



首都圏のオープンイノベーション施設を活用したF-REI研究者等と企業関係者の交流会

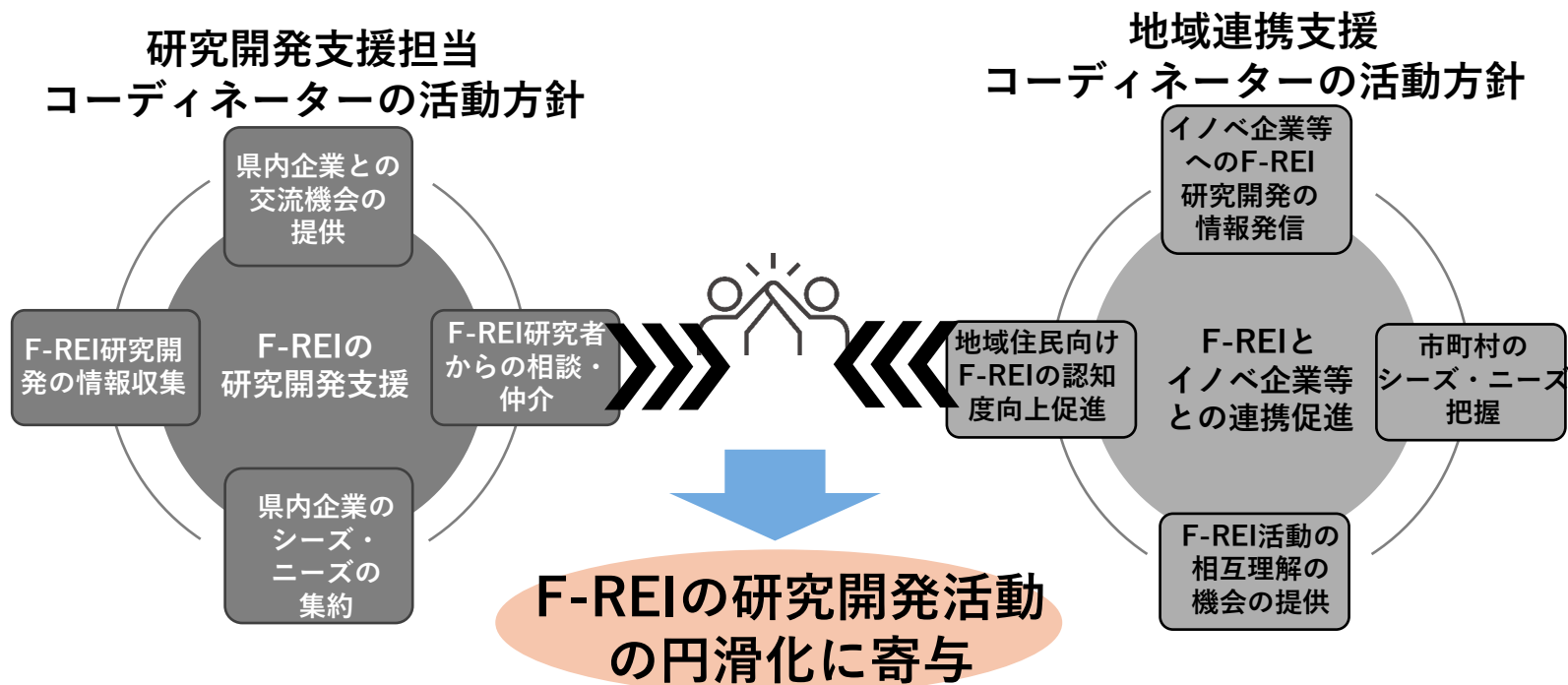
R7の事業成果

F-REIの研究開発を支援すべく、F-REI広域連携監等との協力の下、F-REIと県内企業等との相互理解や具体的な連携に向けた端緒を創出するとともに、F-REIの研究開発活動等についてイノベ企業等の理解を促進し、イノベ構想の発展を図った。

実績：情報収集・発信等のための各機関や企業の訪問、県内2紙等での情報発信、F-REI研究者と県内企業との交流会の実施
訪問内訳：F-REI研究者(14件)、F-REI外部委託研究者(3件)、産業支援団体(10件)、市町村(20件)、企業(10件)、大学(1件)

R8からの変更点

F-REIの研究体制が構築されてきたことを受けて、今後の活動は「F-REIの研究開発支援」に加え、市町村の連携シーズ・ニーズの把握や、地域住民向けの認知度向上等の地域連携支援の2軸で行うこととし、後者の「地元に対するF-REIの理解促進活動」に特化したコーディネーターを新たに配置することで、各活動を効率的に実施していくこととしたい。





F-REI関連の周辺生活環境充実に向けた取組 (外国人居住者受入れに係る勉強会)

福島県 福島イノベーション・
コース構想推進課

浜通り地域等15市町村の担当者を対象に、外国人居住者（滞在者）の受け入れについて、担当者同士の気軽な情報交換をしながら、何ができるかを考えていく勉強会を開催。

【狙い】

- ・ 外国人受け入れが浜通り地域の将来の共通課題であるという認識共有
- ・ 担当者間の「顔の見える関係」づくり
- ・ 地域間連携につながる取組の創出



- 参加者：浜通り地域等15市町村の担当者、F-REI、県
- 開催形式：関係性構築のため基本は対面開催を想定（オンライン環境を準備）
気軽に話せる環境づくりのため、会議室でなくカフェやワークスペースで開催
関心がある市町村担当者へ広く門戸を開いて参加者を募る
- 事務局：県イノベ課
- 開催状況：年間2回

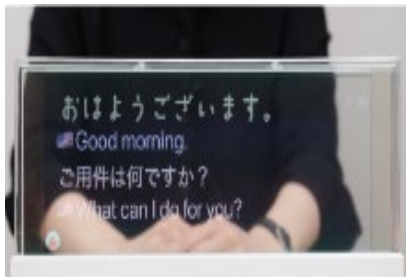
R7実績

【第1回】

日程：令和7年11月11日
 場所：會澤高圧コンクリート株式会社福島RDMセンター（浪江町）
 参加者：13機関約40名
 概要：①趣旨説明（イノベ課）
 ②先行取組紹介
 ・浪江町から、体制整備、多文化・多言語促進、先進地視察
 ・イノベ課から、先進地（沖縄科学技術大学院大学、青森県六ヶ所村）での子弟の教育事例
 ③現状と課題について情報交換

【第2回】

日程：令和8年1月28日
 場所：南相馬市情報交流センター（南相馬市）
 参加者：8機関約30名
 概要：①市町村取組説明
 ・南相馬市多文化共生センターSAKURA
 ・いわき市男女共同・多文化共生センター
 ②県国際課から、多文化共生きずな促進事業、地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業の紹介
 ③各市町村及び関係団体の取組について情報交換



これまでの開催を踏まえ、参加者の関心に応じた課題・事例の深堀

※3回目以降の開催（案）

- ・ F-REIにおける外国籍職員対応取組紹介
- ・ 復興庁のリビングラボ関係事例紹介
- ・ 外部からの講師招聘（大学教員、外国人研究者）

新たなテーマの設定も含め、内容及び開催時期を検討